



2018(平成30)年度 沖縄県障がい者委託訓練

9月開講 訓練生募集中!

介護職員初任者研修科

募集期間 7月2日(月)～7月27日(金)

申込方法 住所を管轄するハローワークに職業相談の上、お申し込みください。
《ハローワーク連絡先》那覇 098-866-8609、沖縄 098-939-3200、名護 0980-52-2886
宮古 0980-72-3329、八重山 0980-82-2327

雇用保険受給手続きをされる方

8月24日(金)までにお手続き下さい。この期限内に手続きを完了しない場合、訓練受講者に対する雇用保険給付の特別な措置を受けられない場合があります。

求職者支援制度対象者(特定求職者)の方

初回訓練相談締切日は7月26日(木)までです。
ハローワークでの訓練の相談・求職者の相談・求職登録は必須事項です。必ず行ってください。(厳守)

訓練期間 9月3日(月)～11月30日(金) 3か月間

入校式 9月3日(月)9:30～

訓練実施場所 てるしのワークセンター (南風原町字宮平206-1)

訓練実施先 公益社団法人沖縄県精神保健福祉連合会 電話 098-889-4011
沖縄県立浦添職業能力開発校 電話 098-879-3560

写真展「闇から光へ」 石垣での開催にあたって

開催の趣旨

昨年末に大阪府で起きた「精神病患者」の長期監禁・衰弱死事件、そして今年3月にも兵庫県で、父親が長男を木製のオリに閉じ込めていた事件が報じられ、大きな衝撃を受けました。

「わが邦十何万の精神病患者は実にこの病を受けたるの不幸の他に、この邦に生まれたるの不幸を重ねるものというべし」と、精神病患者の実態調査報告「精神容赦私宅監置ノ実況及ビ其統計的觀察」を呉秀三教授が刊行してから、今年はちょうど100年の節目です。

沖縄県における精神科受診者は毎年増え続けており、全国平均を上回る約5万人(2016年)が受診しています。沖縄戦の地獄の体験、復帰前の過酷な米軍統治期の困難や、健康保険制度もない中で、精神医療から見放された私宅監置制度が続いたこと等、今に続く沖縄の歴史的背景が横たわっています。4月の那覇での開催は、大きな反響を呼びました。

この度、石垣市において、下記の通り、写真と資料の展示会を開催いたします。期間中には関係者による座談会と上映会も予定しています。なお、会場には現在ただ一ヶ所だけ現存している沖縄本島北部にある監置小屋の複製レプリカも展示します。

写真・パネル展

日時;7月18日(水)~22日(日)

午前10時~午後7時(初日は午後1時開場、最終日は5時まで)

会場;石垣市民会館 1階展示ホール



座談会&映像上映

日時;20日(金)午後7時~8時

21日(土)午後5時~6時

22日(日)午後3時~4時

入場は無料です。

問合せ先 公益社団法人沖縄県精神保健福祉会(沖福連)

電話 098-889-4011(てるしのワークセンター内/高橋)

バレーボール九州大会 応援ありがとうございました

派遣チーム:てるしのレジェンズ

6月9日(土曜日)、大分市東部公民館体育館で行われた、全国障害者スポーツ大会・バレーボール(精神の部)に参加してきた沖縄県代表てるしのチームです。こころんぴっく(沖縄県大会)で準優勝して、夢だった九州大会に初出場できました。みなさん、応援ありがとうございました!

今回の参加メンバーは選手8名、応援2名、スタッフ4名。ぎりぎりまでメンバー変更があったりで、ちょっとどきどきしましたが、14名そろって出発できました。

大会初戦は北九州市のチームと対戦。試合前のチーム練習も、九州のチームはみな本格的で圧倒され、緊張してしまいました。1セット目は25-10、2セット目は25-6で2回戦には進めませんでした。

お弁当を食べてからは、宮崎県チームとの交流戦。緊張もほぐれて、楽しんでいこうとのぞみ 1セット目を23-25でとりました。2セット目は25-14、そして3セット目は20点を超えてから競り合い、24-24、勝てるぞーと思ってがんばりましたが、28-26で試合終了…。ざんねんだったけど、いいチームワークで試合ができて、選手は「とれそうでとれなかった、くやしい」「次の目標ができた」「楽しかった」と。

控室では、昨年の全国優勝、九州5連覇の福岡県チームが同室で、いろいろお話を聞いたり、写真を撮ったりしていただいたりしました。さすが全国一のチーム、みなさんかっこよかったです。この交流もいい思い出になりました。

決勝戦は福岡県 VS 鹿児島県、プロ選手の試合のように迫力がありました。福岡県チームが優勝、全国大会に出場します。おめでとうございます!

今回、大分での九州大会への派遣には、たくさんの方々に応援していただきました。応援チケット、クラウドファンディング、募金、メッセージ、新聞取材、みんな私たちの力になりました。ありがとうございました。

大会までもいろんなことがあって、不安になったりもしましたが、みんなで力を合わせてのりきることができました。「やればできるさ!」これからも、てるしのチームを応援してもらえたら、うれしいです。ほんとうにありがとうございました。



【おススメ本 紹介コーナー】

理不尽から逃げて、居場所をつくりあげていくまでの物語

書店で手に取って、実は一度買うのをやめた。パラパラ眺めただけでも、なかなか気分がしんどかったからだ。

沖縄の、夜の世界に身を置く6人の女性たちが取材されている。彼女たちは貧困だったり暴力だったり、そういうものに居場所を削り取られている。たぶん望むとか望まないとかではなくて、そのときには他に選択肢もなく、風俗の世界に足を踏み入れていく。語られて、描かれる、困難と痛みは生々しい。

読み終わってから、最近、沖福連の取り組んでいる「私宅監置」のことが頭に浮かんだ。

ほとんど誰もが隣にあることを知っていて、けれど建前上覆い隠されている。普段はまるで水面下にあるみたいに、しいて目を向けられることもない。社会側の処し方として、牢屋があってもなくても、なにも変わっていないと感じる。他でもない自分自身が、一度はあまり「見たくない」からと、本を店の棚に戻している。

痛みを抱えた女性たちが描かれるだけでなく、より浮き彫りにされているのはむしろ、暴力だったり、貧困だったり、家族関係のひずみだったり、そういうものだ。

理不尽を知ると疑問が生まれる。疑問を抱くと、語り始めたくなる。それで気がついたら、こうして本の紹介を書き留めている。

必ずしも、読後感は暗くない。

女性たちを取材している著者の眼差しの温かさには、ほっとさせられるし、見守る眼差しを通して、再び歩き出す人間の強さを知ることができる。(増山)



上間陽子著／太田出版

編集後記

宮古島は「宮古バブル」とのこと
で、空前の建築ラッシュ・・・伊良部
島の海沿いには、次々と宿泊施設
が建てられています。新しいお店
もたくさんできていますが、内地
価格になりつつあるのか、年々ラ
ンチ代も高くなっています。
「働けど働けど わが暮ら
し 楽にならざり」 A・T



編集:公益社団法人沖縄県精神保健福祉社会連合会
会長 山田 圭吾

〒901-1104 沖縄県南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX 098-888-5665

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行:九州障害者定期刊行物協会

〒812-0024 福岡市博多区網場町 1-17

福岡パーキングビル 4階

Tel.092-753-9722 Fax.092-753-9723

定価:10円(会費に含まれる)